

小水力発電所全景

事業名: まちづくり
交付金事業
発電出力: 53kw
工事費: 201,600千円

落差を活かした小水力発電

発電部

流入口

放流口

昼間は中学校、夜間は町中の街路灯に利用

年間発電量(予定): 409,800kwh

水

木質バイオマスの活用

木屑炊きボイラー
による木材乾燥

木屑炊きボイラー

ペレット製造工場

木質バイオマス地域
循環利用プロジェクト
(梶原町・矢崎総業・森林組合・
高知県の共同事業)

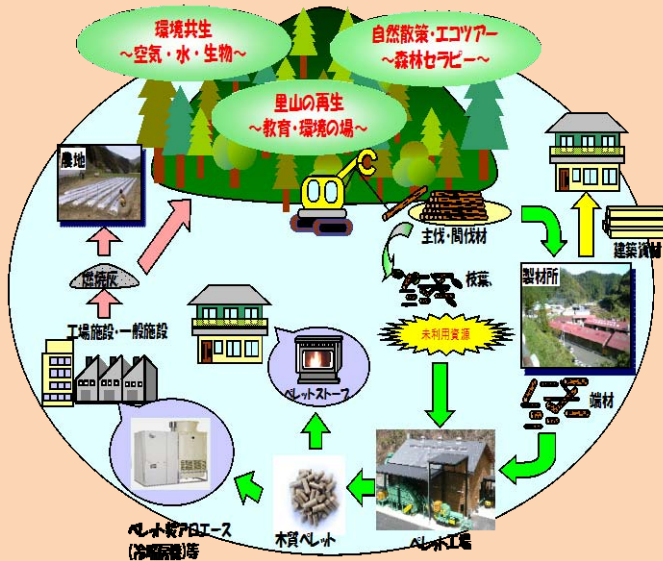
稼動は2008年4月

森

梶原町の低炭素化への取組の概要

木質バイオマス地域循環モデル事業プロジェクト

- 公民協働による木質ペレットの生産等による地域資源の循環を実現
- 企業との協働の森林づくりを拡大
- 今後、国内クレジット取引を活用した持続的な事業展開を目指す。



CO₂森林吸収プロジェクト

- 確実な森林施業と作業の効率化
 - ・ 風力発電の売電収入等により、森林づくりを推進
- 持続的な森林経営の実現
 - ・ 適切な森林管理によりFSC森林認証を取得。経済的価値が付加され、雇用確保や森林経営の安定等を実現。



CO₂削減プロジェクト

- 風力発電、小水力発電、太陽光発電の積極的な施設整備により、産業、業務、家庭部門における電力の自給率100%を実現。
- 廃食油を回収しBDFを生産。
- ペレット消費機器の普及により木質ペレット消費量を拡大。



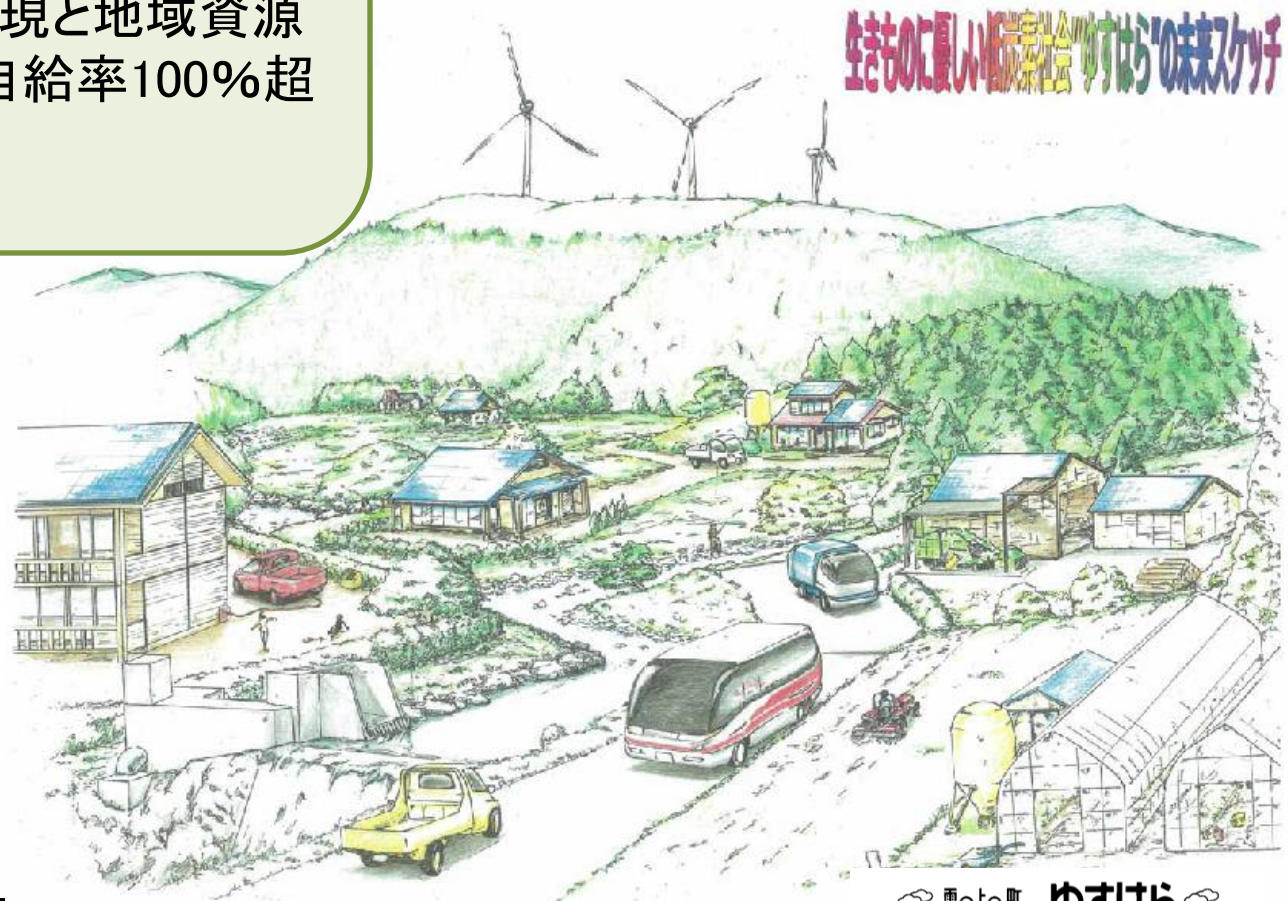
人・仕組みづくりプロジェクト

- あらゆる世代の人材育成と、都市や企業との交流・連携による地域活力の創出、森林セラピー等の環境産業を推進し、低炭素社会づくりの取組を持続・定着。



今後の目標

- 2050年に温室効果ガス排出量を70%削減、吸収量を4.3倍増（1990年比）を目指す。
- 循環モデル事業の実施による山村型低炭素社会の実現と地域資源利用によるエネルギー自給率100%超を目指す。



生きものに優しい低炭素社会「ゆすはら」の未来スケッチ